

展示資料 古文書釈文

32 熊野三山檢校宮令旨

常陸国真壁地頭那智

山師職事、任正和下知并

袴重等願文之旨、領掌不可

有相違者、依〔法親王カ〕令旨

執達如件、

元亨貳年二月二日 法印(花押)

善寂房律師御房

33 熊野三山檢校准后令旨

那智山尊勝院御留守職・同

得分物并先師濟賢律師跡、

散在田畠屋敷諸檀那以下

事、去建武五年雖被下安堵

令旨、大輔房定濟違背上裁、

成其妨之間、欲被処罪科之處、

彼定濟令逝去云々、此上者、任建武

御下知管領不可有相違者、依

〔檢校准后カ〕令旨執達如件、

康永二年二月十日 法印(花押)

三位公御房

34 頼円檀那讓狀

〔端裏書〕

「道印房分」四十二号」

寛宝房」

永 讓渡檀那事 「寛宝房相伝」

丹波国 先達門弟引檀那等共、

右檀那者、頼円相伝之私領也、而
依為弟子、限永代所讓与道印坊
明白也、雖為後日、不可有他之妨者也、
仍狀如件、

正和三年 庚 壬三月五日 法印頼円(花押)

〔追筆〕 「先達今ハ宝殿」(ミトノ)

「先達ハ宝智房、丹波国ヒカミノ郡ハ皆持上房タムナ、リ」

35 上野国高山莊小林重次等檀那願文

上野国高山庄小林小五郎重次(花押)

同次郎重家(花押)

同小式公(花押)

松 善一(花押)

同大達刑部重賢

永徳四年正月三日 (花押)

那智山御師六角堂

新宮御師岩本但馬公

本宮御師提ミの、阿闍梨

40 那智山田楽資料 綾蘭笠

一之サ、羅

執行

実法院法印道寿

前官

性元院寛濟

前官

橋爪房行殿

前官

金龍坊道意

前官瀧衆

仙瀧院頼延

春光坊道周

神光坊重応

真覚坊重珂

上之坊頼寛

明楽坊門濟

実蔵坊勝濟

大蔵坊慶濟

龍寿院重需

尊勝院実濟

宝泉坊賢濟

玄性坊道寛

浄蔵坊清順

宝春坊玄濟

空深坊道全

宝蔵院道秀

宝如坊後住

明静坊弁濟

仙瀧院後住瀧衆

浄照坊頼啓

実蔵院後住瀧衆

智明坊濟海

光明坊後住瀧衆

聖音坊祐応

上之坊後住

善巧坊頼春

真覚坊後住

宝全坊重延

明楽坊後住

明寛坊祐濟

実方院後住

宝寛房道延

大蔵坊後住

明寿坊本濟

明和第五子 戊 歳六月

龍寿院重需

明静坊弁濟

善巧坊頼春

造之

42 田楽再興日記

那智山田楽廊坊

一乱ヨリ廿年たいてん仕候ヲ、

廊屋陰居致走舞

同上之梅松丸・同五郎平丸・

清水瀬兵衛・清水新助・

上職部少丸・答志九右衛門・

清水作内進ヲ仕、慶長

四年より田楽おとり申候、

いせう寄進之事

五人前分 実報院

一人前分 御前庵主

一人前分 那智阿ミ

一人前分 瀧庵主

一人前分 春禪

瀧庵主内

老人前分 宋心

諸道具れう事うつし

補陀洛寺清源

太このわ寄進衆

一ツ分 濱宮 庄屋神三郎

一ツ分 くしの川庄屋与三郎

一ツ分 天満かし与左衛門

一ツ分 同かし 喜助

右寄進也

大コノ輪ニ、

当山執行 実報院道助

時之衆徒衆ノ事 新蔵房

尼 清義 覚善房

十如房 門善房

宝春房 善□房

□樹房 宝如房

春光房 常楽房

大納言 清島房

滝本衆 以上

円蔵房 金瀧房

仙瀧房

其時細工人数

川堰 湯之助

「」崎 菖蒲之助

西 四九助

時之原 勝達房

□道具川関廊

陰居者ニて此も出来申候、

慶長四 己 年六月吉日

亥

清義 印

43 恒例六月会田楽人数書上

【表】

定 「那智大社文書 第四十七」 田楽板

恒例六月会田楽人数之事

上之房 宝泉房

神光房 明楽房

宝林房 金蔵房

東蔵房 城善房

光蔵房 聖門房

右衆儀如件

寛永五年六月十七日

【裏】

恒例六月会田楽

一乱声 一ノコギリハ

一八拍子 一遶道

一二拍子 一三拍子

一本座駒引 一新座駒引

一サ、ラノ役 一太鼓ヲコス十一

一ハチサケ 一肩 クム

一タラリ行道 一入クム 一本座水車 一新座水車

一本座鹿子踊 一面ゲンサウ

一新座鹿子踊 一大コ ヒトハハ 大足

一打居 一皆衆会

寛文元 丁 年六月日

巳

一乗房円明彫之